

大田区交通政策基本計画の点検・評価について ―モニタリング指標―

1. PDCA サイクルによる計画の推進について

- ・「大田区交通政策基本計画」（平成 30 年 3 月）（以下、「本計画」と記す。）は、PDCA マネジメントサイクルを用いながら推進し、点検評価については、「モニタリング指標」についてデータを収集・整理するとともに、「計画に掲載したすべての施策」について、その進捗状況を把握することとしている。
- ・そのため、本計画の進捗状況と成果の検証として、モニタリング指標についてデータを整理するとともに、これを補足する資料として施策の「成果管理シート」を作成し、主な施策の進捗状況や成果を整理した。

2. モニタリング指標について

- ・モニタリング指標は、業績評価指標と目標達成指標から構成される（モニタリングの評価指標値の推移参照）。
 - （1）業績評価指標：施策による効果は複数の施策が連携して生じるため、3つの「目標」（暮らし、都市の活力、環境）及び「区民の関わり」について、代表する 17 の指標を設定している。
 - （2）目標達成指標：取り組みの達成状況を把握するため、受益者である区民の意識を 4 項目の「満足度」として設定している。

3. モニタリング指標の整理結果と考察

1) 目標「暮らし」の業績評価指標

- ・暮らしに関わる総合的な評価（「通勤・通学の便」、「医者や病院の便」、「買い物の便」に対する区民の満足度）は、いずれも増加している。
 - ・一方、公共交通について、公共交通の利用環境については横ばい、大田区内の公共交通網への満足度については増減はあるもののやや減少している。
 - ・また、施策を実施した効果としては、放置自転車台数は大きく減少している。
- 以上のことから、暮らしに関わる総合的な評価は、交通以外の区の取り組みの効果も想定されるものの、放置自転車台数の減少、シェアサイクルの普及等の交通分野の取り組みの着実な進展により、総合的な満足度が増加したことがうかがえる。
- しかしながら、「バリアフリー」に対する満足度は 30%台の低い値で推移しており、取り組みの充実がさらに求められる。
- なお、大田区の交通に関する区民アンケート（第 3 回）では、特に「自転車を利用する環境の充実」、「歩行者重視の道路空間づくり」の重要度が高く満足度が低い。そのため、自転車利用環境、歩行者重視の道路空間づくりの取り組みの充実がさらに求められる。

2) 目標「都市の活力」の業績評価指標

- ・都市計画道路の整備は進んでいるが、整備量が大きくないこともあり、道路の整備に対する

区民の満足度は横ばいである。

- ・区内の全鉄道駅の1日平均乗降人員、宿泊施設の延べ宿泊者数は、新型コロナウイルスの感染拡大前は増加傾向であったが、令和2年度には減少に転じている。
- 以上のことから、都市計画道路の整備をはじめ、業務や人の交流など都市の活力を支える交通分野の取り組みの推進が引き続き求められる。

3) 目標「環境」の業績評価指標

- ・道路交通騒音の環境基準達成率は横ばい。
 - ・一方、緑道や散策路、優先対策橋梁、狭あい道路の拡幅は、いずれも整備が進んでいる。
- 東京における年平均気温の経年的な上昇傾向が現れている。また大田区の交通に関する区民アンケート（第3回）で、特に「ヒートアイランド現象の改善」の重要度が高く満足度が低い。これらのことも踏まえ、緑道や散策路の整備、道路の緑化など、都市環境の改善に向けた取り組みの充実がさらに求められる。

4) 区民の関わりに関する業績評価指標

- ・交通に関わる区民団体（NPO）の数は、5団体（平成28年度）から4団体（令和3年度）に減少している。
- なお、大田区の交通に関する区民アンケート（第3回）では、交通に関わる取り組みへの区民の今後の参加意向は、第2回調査と大きな変化はみられないことから、交通に関わる取り組みについて、区民の参加促進・連携の強化が引き続き求められる。

5) 目標達成指標

- ・目標「暮らし」：「誰もが住み慣れた地域でいきいきと快適に暮らせる、移動しやすい交通環境」に対する満足度は、65.0%から57.8%に減少。
 - ・目標「都市の活力」：「産業や仕事、人々の交流など、都市のにぎわいや活力を支える交通環境」に対する満足度は、65.5%から49.3%に減少。
 - ・目標「環境」：「地球や都市、人々にやさしく、安全安心な交通環境」に対する満足度は、51.5%から34.7%に減少。
 - ・区民の関わり：今後、「(交通に限らず)地域のコミュニティ活動に参加したい」割合は、37.6%から34.9%に減少。
- 以上のように、目標達成指標はいずれも減少しているが、個々の取り組みの満足度については特に減少がみられないことから、この目標達成指標に関する第2回調査の結果が、本来の値よりも高い結果になっていたことがうかがえる。
- また、近年における災害の甚大化、新型コロナウイルス感染拡大等を経験し、「暮らし」、「都市の活力」、「環境」のキーワードに対して、交通政策以外の視点が大きく反映されてしまっている可能性も考えられる。

6) まとめ

- モニタリング指標のうち、業績評価指標の推移を確認した結果、取り組みの進捗状況を確認

したところ、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を除けば、取り組みが進められていることが確認できた。

- 一方、目標達成指標の値はいずれも低い結果となっていることから、現行計画に記載された取り組みについては、基本的に継続する必要がある。
- 「バリアフリー」に対する満足度は30%台の低い値で推移しており、取り組みの充実がさらに求められる。

表 モニタリングの評価指標値の推移

1)業績評価指標

※グレー:計画策定時の指標

目標	項目	モノサシ(指標)	計画策定時の指標	単位	指標の推移					
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度
					2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
暮らし	総合的な評価	「通勤・通学の便」に満足している区民の割合(%)	75.8% (平成28年度)	%	75.8	76.2	72.8	—	—	78.1
		「医者や病院の便」に満足している区民の割合(%)	75.2% (平成28年度)	%	75.2	73.6	73.0	—	—	78.0
		「買い物便」に満足している区民の割合(%)	74.1% (平成28年度)	%	74.1	74.8	75.2	—	—	76.9
	公共交通に関わる評価	自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。	91.0% (平成29年度)	%	—	91.0	85.2	90.8	88.7	91.4
		大田区内の公共交通網(電車・バスなど)に満足していますか。	85.0% (平成29年度)	%	—	85.0	78.1	83.1	79.5	81.9
	自転車に関わる評価	放置自転車台数	1,323台 (平成28年度)	台	1,323	1,103	941	1,017	872	534
	バリアフリーに関わる評価	駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合	43.2% (平成28年度)	%	43.2	43.1	46.4	—	—	—
		「バリアフリー」に満足している区民の割合(%)※	34.0% (平成28年度)	%	34.0	35.9	33.7	—	—	35.2
交通安全に関わる評価	区内の交通事故件数	1,279件 (平成28年)	件	1,279	1,348	1,445	1,332	1,259	1,400	
都市の活力	業務や支える交通サービスの提供に関する評価	「道路の整備」に満足している区民の割合(%)	60.0% (平成28年度)	%	60.0	60.4	61.3	—	—	60.1
		都市計画道路の整備延長(km)、整備率(%)	52.40km、48.7% (平成28年度)	km	52.40	52.40	52.59	52.59	52.59	52.87
				%	48.7	48.7	48.8	48.8	48.8	49.1
		区内全鉄道駅の1日平均乗降人員	163.5万人/日 (平成28年度)	万人/日	163.5	167.7	171.0	170.7	116.4	
		区内宿泊施設の宿泊者数(人) (延べ宿泊者数、そのうち外国人)	145.7万人、 33.6万人 (平成28年度)	万人	145.7	158.5	143.0	171.5	67.8	
			万人	33.6	33.2	34.9	36.6	3.5		
環境	都市の環境負荷の低減に関する評価	道路交通騒音の環境基準達成率(%)	84.3% (平成28年度)	%	84.3	78.4	82.0	77.7	83.8	
	人にやさしい移動環境の提供に関する評価	緑道や散策路の整備延長(km)	計20.8km (平成28年度)	km	20.8	21.0	21.3	21.7	21.1	23.5
	災害に強いまちづくりへの交通の支援に関する評価	優先対策橋梁の整備率(%)	60.3% (平成28年度)	%	60.3	63.0	65.8	68.5	72.6	73.9
		狭あい道路の拡幅整備率(%)	16.1% (平成28年度)	%	16.1	16.8	17.7	18.5	19.5	20.3
全体	区民の関わり	交通に関わる区民団体の数	5団体 (平成28年度)	団体	5	—	—	—	—	4

※「バリアフリー」に満足している区民の割合:大田区政に関する世論調査で「駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合」の設問がなくなったため、代わりに指標として追加しました。

2)目標達成指標

目標	指標	計画策定時の指標	令和4年度の指標
暮らし	「誰もが住み慣れた地域でいきいきと快適に暮らせる、移動しやすい交通環境」に対する満足度	65.0%	57.8%
都市の活力	「産業や仕事、人々の交流など、都市のにぎわいや活力を支える交通環境」に対する満足度	65.5%	49.3%
環境	「地球や都市、人々にやさしく、安全安心な交通環境」に対する満足度	51.5%	34.7%
全体	今後、「(交通に限らず)地域のコミュニティ活動に参加したい」割合	37.6%	34.9%